

2010年2月1日  
日本郵政株式会社

東欧を代表する絵本作家ドゥシャン・カーライによる  
日本初公開の切手原画が一堂に！

## 「スロヴァキアの切手展」の開催

～ドゥシャン・カーライとブラチスラヴァの絵本文化～

開催期間：2010年2月13日(土)～2010年3月28日(日) / 場所：通信総合博物館(2階企画展示場)

主催：日本郵政株式会社郵政資料館 後援：スロヴァキア共和国大使館 日本国際児童図書評議会(JBBY) 協力：スロヴァキア郵便博物館 チェコ郵便博物館

通信総合博物館(所在地：東京都千代田区大手町 2-3-1)では、2010年2月13日(土)から2010年3月28日(日)まで、「スロヴァキアの切手展～ドゥシャン・カーライとブラチスラヴァの絵本文化～」(主催：日本郵政株式会社郵政資料館)を開催します。

豊かな水の音が響くドナウ川、オレンジ色の屋根と石造りの街並み。スロヴァキアの首都ブラチスラヴァは、古くから製本、工芸の分野で多くの職人を育ててきた土地です。現在では2年に1度、世界最大規模の「ブラチスラヴァ世界絵本原画展(BIB)」が行われる“絵本の街”としても知られ、同展の開催に併せて記念切手も発行されています。



記念切手「ブラチスラヴァ世界絵本原画展」1995年



記念切手「郵便法の歴史」2000年

(切手原画デザイン：いずれもD.カーライ)

本展では、スロヴァキア郵便博物館、チェコ郵便博物館の協力を得て、東欧を代表する絵本作家であり切手デザインも多く手がけているドゥシャン・カーライによるチェコスロヴァキア時代から現在までの日本初公開となる切手原画のほか、郵便関連グッズをはじめ、スロヴァキアの絵本文化を背景とする記念切手や関連の絵本原画など、約150点を紹介します。



## 主な展示品

- ドゥシャン・カーライによるチェコスロヴァキア～ユーロまでの切手原画
- スロヴァキアの郵便関連グッズ
- 「ブラチスラヴァ世界絵本原画展(BIB)」記念切手
- 初日カバーと関連の絵本原画
- ドゥシャン・カーライの絵本原画



## イベント案内

### アニメーション『愛の伝説』 1979年

- ドゥシャン・カーライが原画を担当したスロヴァキアの短編アニメーション
- [上映日] 2月13、14、20、21、27、28日(土・日) 13:00 - 16:00 随時
- [会場] 地下2階ホール

(左) ドゥシャン・カーライ『愛の伝説』1979年© Dušan Kállay

## 作者 & 作品紹介

### Dušan Kállay ドゥシャン・カーライ(1948 - )

スロヴァキア出身。東欧を代表する絵本作家。1983年、絵本の世界で栄誉ある賞の一つ「ブラチスラヴァ世界絵本原画展」でグランプリを受賞。世界各国で絵本を出版し、日本でも多くのファンを持つ。また、切手原画作者としてチェコスロヴァキア時代から多くの切手デザインを担当。そのほか、版画、油彩画、アニメーション原画も手がけるなど多彩な活動を繰り広げている。作品のスタイルは、絵本に登場する幻想的とも言える色使いや様式に加え、版画や切手原画にみられるような細密なものでその手法は幅広い。同国では絵本のみならずレコードジャケットを担当するなどグラフィックアーティストとしても知られる存在である。近年では4年の歳月をかけて、夫人のカミラ・シュタンツロヴァーとH.C. アンデルセンの全童話156編に挿し絵を付け、1700ページ、3冊からなる大作『アンデルセン童話集』(2005 - 6)をまとめた。BIBほかポローニャ国際絵本原画展など各国の絵本やイラストレーションの国際展示の審査員を務め、現在は、ブラチスラヴァ美術アカデミーで教授として教鞭をとり後進指導にも力を注いでいる。

### 代表作

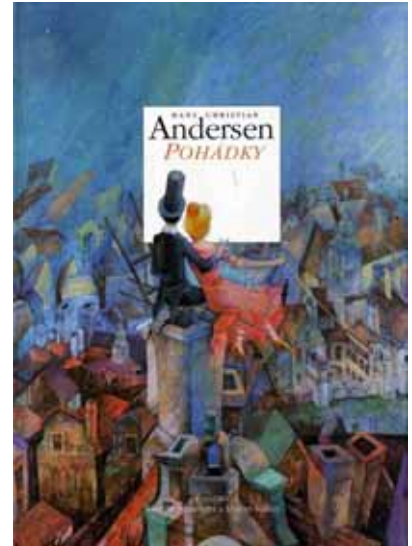
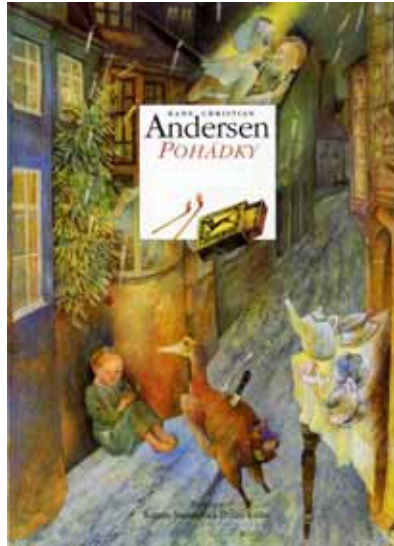
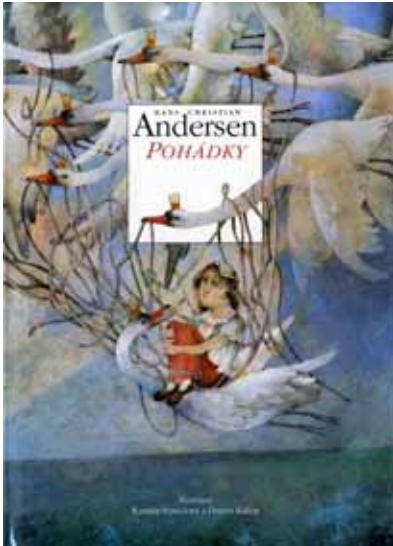
- 『不思議の国のアリス』1981年 / 同絵本原画は、スロヴァキア国立美術館所蔵
- 『アンデルセン童話集』1~3巻 2005 - 6年
- 『12月くんの友だちめぐり』1996年
- 『どきどきおんがくかい』1997年 …他

### 受賞歴

- イラストレーション『ヤヴォリナ森を超えるタカ』1973年 BIB金のリンゴ賞
- イラストレーション『騎士ロランド』1975年 BIB金のリンゴ賞
- イラストレーション『不思議の国のアリス』1983年 BIBグランプリ
- 短編アニメーション『愛の伝説』1980年 アルス・フィルム・フェスティバル銅賞



『どきどきおんがくかい』1997年 福音館書店刊



最新作『アンデルセン童話集』2005-6年 文：H.C.アンデルセン 絵：ドゥシャン・カーライ / カミラ・シュタンツロヴァー BRIO刊

## 通信総合博物館(ていぱーく) 概要

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1

アクセス：地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ

東京メトロ：丸の内線、半蔵門線、東西線、千代田線  
都営三田線

JR「東京駅」下車丸の内北口より神田方面へ徒歩 10 分

入館料：個人 大人 110 円 / 小・中・高校生 50 円

団体（20 名以上）大人 50 円 / 小・中・高校生 25 円

（小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料）

休館日：月曜休館（月曜祝日の場合は火曜休館）、年末年始



通信総合博物館は 1902(明治 35)年、万国郵便連合(UPU)加盟 25 周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100 年以上の歴史を誇る博物館です。

当館は、日本で唯一の「情報通信関係の総合博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信・放送の各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。現在は、日本郵政株式会社・東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）・日本放送協会（NHK）が共同で運営しています。

### 【お問い合わせ先】

日本郵政株式会社 郵政資料館

電話：(03)3244 - 6821

担当：井村